

溪和会江別病院 令和6年度病院指標

3. 初発の5大がんのUICC病期分類別並びに再発患者数

<定義>

- ・5大がん(胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、肝がん)について、令和6年度に入院治療を行った初発患者さんのUICC病期分類による延べ患者数および再発患者さんの延べ患者数を集計しています。
- ・延べ患者数とは、1人の患者さんが2回入院していれば患者数は「2」となります。
- ・該当患者数が10名未満の場合は「-」にて表記しています。
- ・初発とは、自施設でがんの診断・診断から初回治療・初回治療のみのいずれかを実施した場合をいいます。
- ・再発とは、自施設、他施設を問わずに初回治療が完了した後、自施設にて患者さんを診療した場合、治療がん寛解後に再発・再燃または新たな遠隔転移をきたした場合をいいます。
- ・病期分類基準の1はUICC TNM分類に基づいたものです。2はがん取り扱い規約によるものです。
- ・版数とは、Stageの判定に使用するUICC病期分類の版数を表記しています。

	初発					再発	病期分類基準	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃がん	21	—	11	—	—	—	2	8
大腸がん	17	38	42	10	—	17	2	8
乳がん	—	—	—	—	—	—	2	8
肺がん	—	—	—	17	—	31	2	8
肝がん	—	—	—	—	—	17	2	8

<解説>

初発の患者数としては大腸がんが最も多く、次いで胃がん、肺がんが続いています。
再発の患者数は肺がんが最も多く、大腸がん、肝がんが続いています。
手術、抗がん剤(分子標的薬)など、患者さんが適切な治療を受けられるよう内科と外科で連携しています。